研　　究　　会

課　題　　生糸の伸度問題をめぐって

司　会	長野県繊維工業試験場製糸部長	小　池　良　介
講　師	横浜生糸検査所検査第二部長	小　松　四　郎
	蚕糸試験場製糸部繭質研究室長	水　出　通　男
	模範社工務部試験係長	徳　地　成　夫
	滝文工業株式会社専務取締役	滝　沢　林　平

生糸の伸度問題をめぐって

——生糸検査格付改正と生糸検査の現状——

横浜生糸検査所検査第二部長　小　松　四　郎

Ⅰ　生糸検査制度研究会

最近における生糸検査制度をとりまく諸情勢に対処して，生糸検査制度の改善合理化をはかるため，昭和46年7月に生糸検査制度研究会が発足し，2か年にわたり審議を行った。この研究会においては，検査制度専門委員会と検査方法専門委員会の2つの部会をもうけて，両専門委員会では次の問題について具体的に検討をして来た。

1. 検査制度専門委員会
   (1) 検査体制の整備
   (2) 検査実施機関
   (3) 輸入生糸の検査
   (4) 検査手数料
2. 検査方法専門委員会
   (1) 改正の基本的な考え方
   (2) 検査項目およびその内容
   (3) 格　　付
   (4) 検査の実施方法
   (5) 生糸検査方法改正試案

この両専門委員会で審議した上，本年3月の研究会において決定をみて農林省に答申を行ったのである。

この研究会の結論のうち，検査方法の改正については次に記すような内容で，改正の実施は49年1月1日の予定である。

Ⅱ　主な改正点

1. 検査の合理化および簡素化を図る方向で検討した。しかし，この場合において絹の特性が検査成績に反映するよう配慮した。
2. 輸出生糸検査と国用生糸検査を一本化した。
3. 検査は必須検査（各種の絹織物を通じて原糸として生糸に要求される共通な性能のうち，最低必要な性能を検査する項目）と選択検査（製品の種類に応じ，その独特な製品特性を発揮させるのに必要な性能を検査する項目）にした。

   選択項目は，用途に応じて必要な項目を選んで必須検査と同時請求できるものとする。
4. 検査項目および内容については，合理化，簡素化を図るものとした。
5. 格等級については，低格生糸の格等級（B格の下にC格およびD格の2格を設ける）と高

格生糸について新たに５Ａを加え，全部で８等級とした。

6. 格付表の限度については，改善を加えた。

7. 品位検定証の検査成績の表示を，より内容が的確にわかるような方法をとることとした。

Ⅲ 改正の内容

1. 必須検査

必須検査は生糸の品位および正量について行う。

(1) 正量検査

検査料糸および検査方法は現行どおりとする。

(2) 品位検査

検査料糸および検査試料は現行どおりとする。項目は次のとおり。

1) 総荷整理検査

（a） 荷ぞろいの状態ならびに整理欠点の有無および程度を検査し，良，やや劣または劣でその成績を表わす。

（b） 荷ぞろいの区分および整理欠点の項目のうち，状態が安定し，現在では検査の実益に乏しくなったと認められるものを削除し，または項目の整理統合を図る。

（c） 成績の良およびやや劣の判定基準を現行のものより緩和する。

（d） 荷口の整理および調整は原則として行わないこととする。

ただし，検査不能かせ等著しい欠点があるかせが混入している荷口は検査請求者にそのかせを除去させることがある。

（e） 現行の性状検査は必須検査項目から除外する。

2) 再繰検査

（a） 再繰切断検査のみとし，現行の再繰整理検査は，必須検査項目から除外する。

（b） 再繰検査に際し，糸口を出すためにかせの糸層のはぎとり等を必要とする場合は，その欠点を当該かせの成績（糸条切断数）に影響させる程度を現行よりきびしくする。

（c） 再繰検査の不可能なかせがあった場合は，これを当該かせの糸条切断数にきびしく影響させる。この場合の適用条件は，かせの全部または一部に絡交不正，棒揚がり，あるいは固着がある場合または糸条の著しく脆弱な所があって，正常の再繰検査が不可能な場合とする。

ただし，この場合の検査試料の採取は，正常の速度および再繰時間によらない方法で行うことができるものとする。

（d） 再繰検査の不可能なかせ，もしくは二本揚がりがあった場合は，品位検定証の備考欄にその旨を記載する。

3) 繊度検査

検査方法は，現行どおりとする。

（a） 繊度偏差検査

（b） 繊度最大偏差検査

（c） 平均繊度検査

4) 糸むら検査

現行の糸むら検査のうち，糸むら二類および三類のみとし，糸むら一類は，必須検査項目から除外する。

5) 節 検 査

（a） 現行の大中節検査と小節検査を合せて一本化し，節検査とする。

ただし，小節については現行の75点以下のパネルのみを採点する。

（b） 大中節の失点は現行どおりとし，小節の75点以下のパネルの失点は，次のとおりとする。

小節パネル点	失　　点
7 5	0.25
7 0	0.5
6 5	0.75
6 0	1
5 5	1.25
5 0	1.5
4 0	2
3 0	2.5
2 0	3
1 0	3.5

（c） 品位検定証には，大わ節，さけ節の個数をそれぞれ区別して記載する。

6) 強力および伸度検査

（a） 検査方法は，現行どおりとする。

（b） 品位検定証には，伸度の度数分布表を記載する。

7) 物 性 検 査

この検査については，現在検討を進めているものであるが，将来，物性検査の方法および成績の表わし方が確定したときは，必須検査項目とする。

2. 選 択 検 査

選択検査項目は次のとおりとし，その検査方法は，現行どおりとする。

(1) 性 状 検 査

色 相 の 程 度

光 沢 の 程 度

手 ざ わ り の 滑 粗

(2) 再繰整理検査

(3) 糸むら検査

糸 む ら 一 類

(4) 小 節 検 査

小 節 平 均

小 節 劣 等

(5) 抱 合 検 査

この検査は，34デニール以上の生糸については，行わない。

(6) 練減検査

この検査は，品位検定証発行後においても一定期間（3か月）を限り，当該荷口について，後日請求できるものとする。

ただし，検査試料は，繊度糸をもちいるものとし，必須検査終了後も，その繊度糸を保管するものとする。

なお，現在実施している「練減実態調査および調査結果利用実施要領」に基づく調査結果の利用は，行わない。

3. 特例検査

特例検査は現行どおりの正量検査および総荷整理検査のみとし，格付は行わない。

4. 依頼検査

現行の依頼検査項目（15項目）に特殊加工生糸，合糸生糸等のための検査項目を加える。

5. 格付

(1) 格付は，必須検査の品位検査項目の成績により行う。

(2) 格の等級は，5A格，4A格，3A格，2A格，A格，B格，C格，およびD格の8等級とする。

(3) 生糸格付表および格付方法は，別紙のとおりとする。

6. 検定証

(1) 正量検定証は，現行どおりとする。

(2) 品位検定証は，必須検査と選択検査とに区別する。

（別　紙）

1—1　　生　糸　格　付　表

（検査繊度18デニール以下の場合）

項目＼格	5 A	4 A	3 A	2 A	A	B	C	D
検査繊度（デニール）								
繊度偏差（デニール） 12以下	0.70以下	0.80以下	0.95以下	1.10以下	1.35以下	1.75以下	2.35以下	2.35超過
繊度偏差（デニール） 13～15	0.75 〃	0.90 〃	1.05 〃	1.25 〃	1.50 〃	1.95 〃	2.60 〃	2.60 〃
繊度偏差（デニール） 16～18	0.85 〃	1.00 〃	1.20 〃	1.40 〃	1.70 〃	2.20 〃	2.95 〃	2.95 〃
検査繊度（デニール）								
糸むら二類（個） 12以下	17以下	26以下	37以下	50以下	65以下	82以下	101以下	101超過
糸むら二類（個） 13～18	10 〃	17 〃	26 〃	37 〃	50 〃	65 〃	82 〃	82 〃
節（点）	98以上	97以上	95以上	93以上	88以上	79以上	66以上	66未満
項目＼階級	(1)	(2)	(3)	(4)	(5)	(6)	(7)	(8)
検査繊度（デニール）								
繊度最大偏差（デニール） 12以下	1.9以下	2.2以下	2.6以下	3.0以下	3.6以下	4.7以上	6.3以下	6.3超過
繊度最大偏差（デニール） 13～15	2.0 〃	2.4 〃	2.8 〃	3.3 〃	4.1 〃	5.3 〃	7.0 〃	7.0 〃
繊度最大偏差（デニール） 16～18	2.3 〃	2.7 〃	3.2 〃	3.8 〃	4.6 〃	5.9 〃	8.0 〃	8.0 〃
項目＼階級	(1)		(2)	(3)	(4)		(5)	(6)
糸むら三類（個）	1 以下		2	6 以下	13以下		22以下	22超過
項目＼階級	(1)		(2)		(3)		(4)	(5)
検査繊度（デニール）								
再繰切断（回） 12以下	7 以下		15以下		25以下		37以下	37以下
再繰切断（回） 13～18	5 〃		12 〃		21 〃		32 〃	32 〃
項目＼階級	(1)							(2)
強力（g）	3.7 以上							3.7未満
項目＼階級	(1)		(2)					(3)
伸度（%）	19以上		18以上					18未満

（参　考）

輸　出　生　糸　格　付　表（現　行）
（目的繊度18デニール以下の場合）

格 / 項目	4　A	3　A	2　A	A	B
目的繊度（デニール）					
繊度偏差（デニール） 12以下	0.80以下	0.95以下	1.10以下	1.35以下	1.35超過
繊度偏差（デニール） 13～15	0.90 〃	1.05 〃	1.25 〃	1.50 〃	1.50 〃
繊度偏差（デニール） 16～18	1.00 〃	1.20 〃	1.40 〃	1.70 〃	1.70 〃
糸むら一類（個）	150以下	170以下	190以下	210以下	210超過
糸むら二類（個）	10以下	17以下	26以下	37以下	37超過
大中節（点）	97以上	95以上	93以上	88以上	88未満
小節平均（点）	94以上	92以上	90以上	87以上	87未満
小節劣等（点）	90以上	87以上	83以上	77以上	77未満
階級 / 項目	(1)	(2)	(3)	(4)	(5)
目的繊度（デニール）					
繊度最大偏差（デニール） 12以下	2.2以下	2.6以下	3.0以下	3.6以下	3.6超過
繊度最大偏差（デニール） 13～15	2.4 〃	2.8 〃	3.3 〃	4.1 〃	4.1 〃
繊度最大偏差（デニール） 16～18	2.7 〃	3.2 〃	3.8 〃	4.6 〃	4.6 〃
糸むら三類（個）	0	1	2	6以下	6超過
階級 / 項目	(1)	(2)		(3)	(4)
目的繊度（デニール）					
再繰切断(回) 12以下	7以下	15以下		25以下	2.5超過
再繰切断(回) 13～18	5 〃	12 〃		21 〃	21 〃
階級 / 項目	(1)				(2)
強力（g）	3.7以上				3.7未満
伸度（%）	18以上				18未満
抱合（回）	40以上				40未満

1—2　　生　糸　格　付　表

（検査繊度19デニール以上33デニール以下の場合）

項目＼格	5 A	4 A	3 A	2 A	A	B	C	D
検査繊度（デニール）								
繊度偏差（デニール） 19～22	1.00以下	1.15以下	1.35以下	1.60以下	1.95以下	2.50以下	3.35以下	3.35超過
繊度偏差（デニール） 23～25	1.10 〃	1.30 〃	1.50 〃	1.80 〃	2.20 〃	2.80 〃	3.75 〃	3.75 〃
繊度偏差（デニール） 26～29	1.15 〃	1.35 〃	1.60 〃	1.90 〃	2.30 〃	2.95 〃	3.95 〃	3.95 〃
繊度偏差（デニール） 30～33	1.30 〃	1.50 〃	1.75 〃	2.05 〃	2.50 〃	3.20 〃	4.30 〃	4.30 〃
検査繊度（デニール）								
糸むら二類（個） 19～25	5以下	10以下	17以下	26以下	37以下	50以下	65以下	65超過
糸むら二類（個） 26～33	3 〃	7 〃	13 〃	20 〃	30 〃	42 〃	56 〃	56 〃
節（点）	98以上	97以上	95以上	93以上	88以上	79以上	66以上	66未満
項目＼階級	(1)	(2)	(3)	(4)	(5)	(6)	(7)	(8)
検査繊度（デニール）								
繊度最大偏差（デニール） 19～22	2.7以下	3.1以下	3.6以下	4.3以下	5.3以下	6.8以下	9.0以下	9.0超過
繊度最大偏差（デニール） 23～25	3.0 〃	3.5 〃	4.1 〃	4.9 〃	5.9 〃	7.6 〃	10.1 〃	10.1 〃
繊度最大偏差（デニール） 26～29	3.1 〃	3.6 〃	4.3 〃	5.1 〃	6.2 〃	8.0 〃	10.7 〃	10.7 〃
繊度最大偏差（デニール） 30～33	3.5 〃	4.0 〃	4.7 〃	5.5 〃	6.8 〃	8.6 〃	11.6 〃	11.6 〃
項目＼階級	(1)		(2)	(3)	(4)		(5)	(6)
糸むら三類（個）	0		1	2	6 以下		13以下	13超過
項目＼階級	(1)		(2)		(3)		(4)	(5)
検査繊度（デニール）								
再繰切断（回） 19～25	4 以下		10以下		18以下		29以下	29超過
再繰切断（回） 26～33	3 〃		9 〃		17 〃		27 〃	27 〃
項目＼階級	(1)							(2)
強力（g）	3.7以上							3.7未満
項目＼階級	(1)	(2)	(3)					(4)
伸度（%）	20以上	19以上	18以上					18未満

（参　考）

輸　出　生　糸　格　付　表　（現　行）

（目的繊度19デニール以上33デニール以下の場合）

項目＼格	4　A	3　A	2　A	A	B
目的繊度（デニール）					
繊度偏差（デニール） 19～22	1.15以下	1.35以下	1.60以下	1.95以下	1.95超過
繊度偏差（デニール） 23～25	1.30 〃	1.50 〃	1.80 〃	2.20 〃	2.20 〃
繊度偏差（デニール） 26～29	1.40 〃	1.65 〃	1.95 〃	2.35 〃	2.35 〃
繊度偏差（デニール） 30～33	1.50 〃	1.75 〃	2.05 〃	2.50 〃	2.50 〃
糸むら一類（個）	150以下	170以下	190以下	210以下	210超過
糸むら二類（個）	10以下	17以下	26以下	37以下	37超過
大中節（点）	97以上	95以上	93以上	88以上	88未満
小節平均（点）	94以上	92以上	90以上	87以上	87未満
小節劣等（点）	90以上	87以上	83以上	77以上	77未満
項目＼階級	(1)	(2)	(3)	(4)	(5)
目的繊度（デニール）					
繊度最大偏差（デニール） 19～22	3.1以下	3.6以下	4.3以下	5.3以下	5.3超過
繊度最大偏差（デニール） 23～25	3.5 〃	4.1 〃	4.9 〃	5.9 〃	5.9 〃
繊度最大偏差（デニール） 26～29	3.8 〃	4.5 〃	5.3 〃	6.3 〃	6.3 〃
繊度最大偏差（デニール） 30～33	4.0 〃	4.7 〃	5.5 〃	6.8 〃	6.8 〃
糸むら三類（個）	0	1	2	6以下	6超過
項目＼階級	(1)	(2)		(3)	(4)
再繰切断（回）	4以下	10以下		18以下	18超過
項目＼階級	(1)				(2)
強力（g）	3.7以上				3.7未満
伸度（%）	18以上				18未満
抱合（回）	60以上				60未満

1－3　　生　糸　格　付　表

（検査繊度34デニール以上の場合）

項目＼格	5 A	4 A	3 A	2 A	A	B	C	D
検査繊度（デニール）								
繊度偏差（デニール） 34～49	2.30以下	2.60以下	3.10以下	3.65以下	4.45以下	5.70以下	7.65以下	7.65超過
繊度偏差（デニール） 50～69	3.25 〃	3.75 〃	4.40 〃	5.20 〃	6.35 〃	8.15 〃	10.90〃	10.90 〃
繊度偏差（デニール） 70以上	3.90 〃	4.45 〃	5.25 〃	6.20 〃	7.60 〃	9.75 〃	13.05〃	13.05 〃
検査繊度（デニール）								
繊度最大偏差（デニール） 34～49	7.0以下	8.0以下	9.5以下	11.0以下	13.5以下	17.0以下	23.0以下	23.0超過
繊度最大偏差（デニール） 50～69	10.0 〃	11.0 〃	13.0 〃	15.5 〃	19.0 〃	24.5 〃	32.5 〃	32.5 〃
繊度最大偏差（デニール） 70以上	11.5 〃	13.5 〃	16.0 〃	18.5 〃	23.0 〃	29.0 〃	39.0 〃	39.0 〃
糸むら二類（個）	1以下	3以下	7以下	13以下	20以下	30以下	42以下	42超過
節（点）	98以上	97以上	95以上	93以上	86以上	79以上	66以上	66未満
項目＼階級	(1)				(2)	(3)	(4)	(5)
糸むら三類（個）	0				1	2	6以下	6超過
項目＼階級	(1)		(2)		(3)		(4)	(5)
検査繊度（デニール）								
再繰切断（回） 34～69	1以下		6以下		13以下		22以下	22超過
再繰切断（回） 70以上	0		4 〃		10 〃		18 〃	18 〃
項目＼階級	(1)							(2)
強力（g）	3.7以上							3.7未満
項目＼階級	(1)	(2)	(3)					(4)
伸度（%）	20以上	19以上	18以上					18未満

（参考）　　輸　出　生　糸　格　付　表　（現　行）

（目的繊度34デニール以上の場合）

項目＼格	4 A	3 A	2 A	A	B
目的繊度（デニール）					
繊度偏差（デニール） 34～49	2.60以下	3.10以下	3.65以下	4.45以下	4.45超過
繊度偏差（デニール） 50～69	3.75 〃	4.40 〃	5.20 〃	6.35 〃	6.35 〃
繊度偏差（デニール） 70以上	4.45 〃	5.25 〃	6.20 〃	7.60 〃	7.60 〃
目的繊度（デニール）					
繊度最大偏差（デニール） 34～49	8.0以下	9.5以下	11.0以下	13.5以下	13.5超過
繊度最大偏差（デニール） 50～69	11.0 〃	13.0 〃	15.5 〃	19.0 〃	19.0 〃
繊度最大偏差（デニール） 70以上	13.5 〃	16.0 〃	18.8 〃	23.0 〃	23.0 〃
糸むら一類（個）	150以下	170以下	190以下	210以下	210超過
糸むら二類（個）	10以下	17以下	26以下	37以下	37超過
大中節（点）	97以上	95以上	93以上	88以上	88未満
小節平均（点）	94以上	92以上	90以上	87以上	87未満
小節劣等（点）	90以上	87以上	83以上	77以上	77未満
項目＼階級	(1)	(2)	(3)	(4)	(5)
糸むら三類（個）	0	1	2	6以下	6超過
項目＼階級	(1)	(2)		(3)	(4)
目的繊度（デニール）					
再繰切断（回） 34～69	1以下	6以下		13以下	13超過
再繰切断（回） 70以上	0	4 〃		10 〃	10 〃
項目＼階級	(1)				(2)
強力（g）	3.7以上				3.7未満
伸度（%）	18以上				18未満

Ⅲ　新格付と現行格付との比較

資料として昭和46年1月～12月の間の横浜および神戸生糸検査所で受検した荷口から，21中1,000荷口および27中1,000荷口を採取し，新旧格付を適用して比較した。

	21中	27中
現行平均格	2A．29	2A．96
改正平均格	2A．23	2A．83

Ⅴ　格決定項目の順位

前記の資料を用いて格決定項目の多い順に記す。

		第1位	第2位	第3位	第4位	第5位
21中	現行	大中節	繊度偏差	糸むら二類	繊度最大偏差	小節劣等
	改正	節	繊度偏差	繊度最大偏差	糸むら二類	再繰
27中	現行	大中節	繊度偏差	小節劣等	小節平均	糸むら二類
	改正	節	繊度偏差	繊度最大偏差	糸むら二類	再繰

Ⅵ　新しい節検査に関する調査

前記の資料を用いて，新しい節検査の成績と現行大中節検査の成績を比較した。

	21中	27中
現行大中節成績の平均	96．21	97．02
新しい節成績の平均	96．08	96．93
1,000荷口中小節の75点以下のパネルの出現した荷口数	225	181

Ⅶ　生糸検査の現状，特に伸度について

1. 最近の品位成績（第1表）
2. 格決定項目割合（第2表）
3. 伸度成績格別荷口数分布（第3表）
4. 月別伸度成績分布（第4表，第1図）
5. 伸度検査試料（10試料）の伸度分布（第5表）

第 1 表　　最　近　の　品　位　成　績　　（輸出，横神合計）

デニール	年次	荷口数	繊度偏差	糸むら 一類	糸むら 二類	大中節	小節 平均	小節 劣等	繊度最大偏差	糸むら三類	再繰 切断	再繰 整理	強力	伸度	抱合	平均繊度	平均格
21	45	9,795	1.25	103.1	10.1	96.00	94.59	92.48	3.6	0.4	4.0	中.80	4.03	19.6	106	20.48	2A.24
	46	7,593	1.25	105.1	9.7	96.27	94.60	92.51	3.5	0.3	4.3	中.81	4.10	19.4	126	20.48	2A.27
	47	7,599	1.27	93.3	7.8	96.63	94.59	92.56	3.5	0.2	4.4	中.82	4.09	19.5	139	20.51	2A.34
	48 1～4	1,773	1.24	90.3	7.5	96.79	94.56	92.43	3.5	0.2	4.3	中.83	4.07	19.9	143	20.52	2A.49
※	45	4,183	1.37	73.2	3.6	96.86	94.59	92.59	3.9	0.1	2.8	中.83	4.13	20.2	137	26.52	2A.86
	46	3,658	1.37	75.5	3.4	97.12	94.63	92.72	3.8	0.1	3.0	中.84	4.14	20.2	164	26.52	2A.96
27	47	3,475	1.38	66.0	2.6	97.55	94.69	93.06	3.8	0.1	2.6	中.89	4.11	19.9	179	26.52	3A.06
	48 1～4	1,021	1.37	64.5	2.5	97.60	94.67	92.95	3.8	0.1	2.2	中.91	4.09	20.4	184	26.54	3A.10

注 ： ※27デニールは28デニールを含む。

第 2 表　　格　決　定　項　目　割　合　　（47年輸出，横神合計）

格決定項目 ＼ デニール・格	21 4A	21 3A	21 2A	21 A	21 B	21 計	21 割合	※27 4A	※27 3A	※27 2A	※27 A	※27 B	※27 計	※27 割合
決定格荷口数	691	3,069	2,325	1,148	366	7,599		1,093	1,687	515	155	25	3,475	
繊度偏差	691	1,717	877	214	57	3,556	27.0	1,093	773	150	19		2,035	21.6
糸むら 一類	691					691	5.3	1,093					1,093	11.6
糸むら 二類	691	577	138	6		1,412	10.8	1,093	14				1,107	11.8
大中節	691	1,295	465	259	35	2,745	21.0	1,093	577	53	7	2	1,732	18.4
小節平均	691	219	11	2		923	7.0	1,093	118	4			1,215	12.9
小節劣等	691	234	110	21		1,056	8.1	1,093	125	29	1		1,248	13.2
繊度最大偏差		192	718	541	180	1,631	12.5		194	268	121	23	606	6.4
糸むら 三類		140	81	13		234	1.8		68	6			74	0.8
再繰切断		313	111	115	28	567	4.3		265	6	1	1	273	2.9
伸度		13	72	51	17	153	1.2		4	10	2	1	17	0.2
総荷整理		14	31	36	45	126	1.0		6	7	2		15	0.2
再繰整理			1	2	1	4	0.0							
計	4,146	4,714	2,615	1,260	363	13,098	100.0	6,558	2,144	533	153	27	9,415	100.0

注 ： ※27デニールは28デニールを含む。

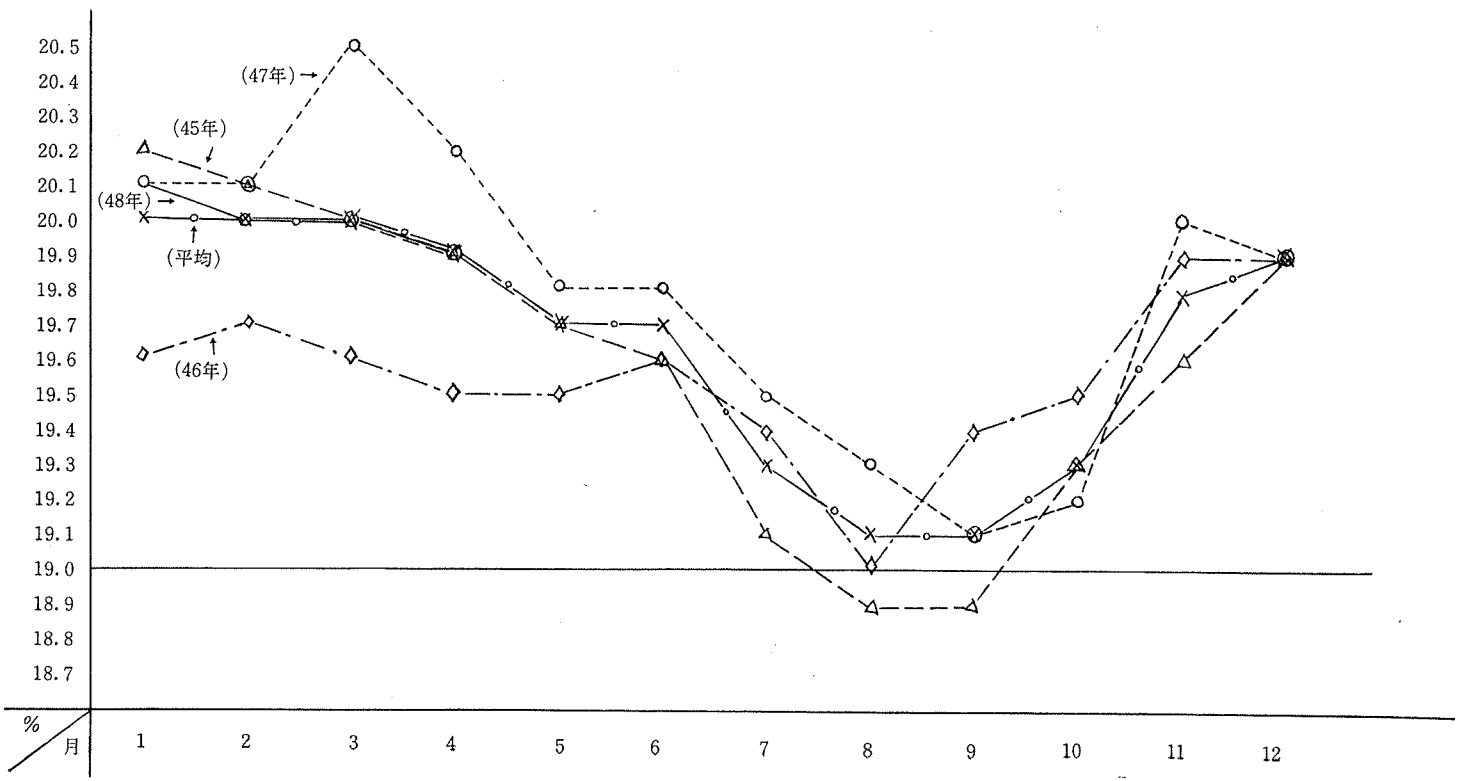
第 3 表　伸度成績格別荷口数分布　(輸出・横浜21デニール)

年	格 / 伸度(%) / 荷口数 / 割合	4A・3A・2A・A (1) 22.4～22.0	21.9～21.5	21.4～21.0	20.9～20.5	20.4～20.0	19.9～19.5	19.4～19.0	18.9～18.5	18.4～18.0	B (2) 17.9～17.5	17.4～17.0	16.9～16.5	16.4～16.0	計	平均
45	荷口数	13	63	241	539	893	1,074	969	608	327	39	19	3	—	4,788	19.6
	格別割合(%)	98.7									1.3				100	
46	荷口数	—	13	116	364	817	1,095	925	593	265	19	10	—	1	4,218	19.6
	格別割合(%)	99.3									0.7				100	
47	荷口数	6	51	233	607	1,014	1,089	784	465	203	32	10	2	1	4,497	19.8
	格別割合(%)	99.0									1.0				100	
48 1～4	荷口数	2	10	90	172	283	238	142	52	10	—	—	—	—	999	20.0
	格別割合(%)	100													100	

第 4 表　月別伸度成績分布　(輸出・横浜21デニール)

年＼月	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	平均
45	20.2	20.1	20.0	19.9	19.7	19.6	19.1	18.9	18.9	19.3	19.6	19.9	19.6
46	19.6	19.7	19.6	19.5	19.5	19.6	19.4	19.0	19.4	19.5	19.9	19.9	19.6
47	20.1	20.1	20.5	20.2	19.8	19.8	19.5	19.3	19.1	19.2	20.0	19.9	19.8
48 1～4	20.1	20.0	20.0	19.9	—	—		—	—	—	—	—	20.0
平均	20.0	20.0	20.0	19.9	19.7	19.7	19.3	19.1	19.1	19.3	19.8	19.9	19.7

第１図　月別伸度成績


20.5
20.4
20.3
20.2
20.1
20.0
19.9
19.8
19.7
19.6
19.5
19.4
19.3
19.2
19.1
19.0
18.9
18.8
18.7
(47年)
(45年)
(48年)
(平均)
(46年)
%
月
1
2
3
4
5
6
7
8
9
10
11
12

第 5 表　伸度検査試料（10 試料）の伸度分布　（輸出・横浜21デニール　47年9月～48年4月　2,676 荷口）

荷口伸度成績 ＼ 試料伸度(%)		11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	計	平均	標準偏差
22.4～22.0	試料数										1	7	11	9	2		30	22.1	0.96
	出現率										3.3	23.3	36.7	30.0	6.7		100.0		
21.9～21.5	試料数								1	5	31	45	71	45		2	200	21.6	1.15
	出現率								0.5	2.5	15.5	22.5	35.5	22.5		1.0	100.0		
21.4～21.0	試料数								6	66	316	554	420	123	5		1,490	21.1	1.02
	出現率								0.4	4.4	21.2	37.2	28.2	8.3	0.3		100.0		
20.9～20.5	試料数							11	78	343	1,109	1,182	644	131	1	1	3,500	20.7	1.09
	出現率							0.3	2.2	9.8	31.7	33.8	18.4	3.8	0.0	0.0	100.0		
20.4～20.0	試料数					1	6	68	284	1,127	2,299	1,677	585	92	1		6,140	20.2	1.11
	出現率					0.0	0.1	1.1	4.6	18.4	37.5	27.3	9.5	1.5	0.0		100.0		
19.9～19.5	試料数		1	1		2	24	150	693	1,728	2,368	1,126	285	32			6,410	19.7	1.14
	出現率		0.0	0.0		0.0	0.4	2.3	10.8	27.0	37.0	17.6	4.4	0.5			100.0		
19.4～19.0	試料数			1	2	16	27	262	862	1,527	1,334	467	92	10			4,600	19.2	1.18
	出現率			0.0	0.1	0.3	0.6	5.7	18.7	33.2	29.0	10.2	2.0	0.2			100.0		
18.9～18.5	試料数	1			1	14	52	350	786	971	593	152	17	3			2,940	18.7	1.19
	出現率	0.0			0.0	0.5	1.8	11.9	26.7	33.0	20.2	5.2	0.6	0.1			100.0		
18.4～18.0	試料数			1	7	19	43	245	385	319	138	30	3				1,190	18.2	1.25
	出現率			0.1	0.6	1.6	3.6	20.6	32.3	26.8	11.6	2.5	0.3				100.0		
17.9～17.5	試料数			1	1	7	10	44	51	31	14	1					160	17.8	1.32
	出現率			0.6	0.6	4.4	6.2	27.5	31.9	19.4	8.8	0.6					100.0		
17.4～17.0	試料数			1	2	4	7	32	11	6	6	1					70	17.3	1.49
	出現率			1.4	2.9	5.7	10.0	45.7	15.7	8.6	8.6	1.4					100.0		
16.9～16.5	試料数			1	1	4	2	5	3	3	1						20	16.8	1.81
	出現率			5.0	5.0	20.0	10.0	25.0	15.0	15.0	5.0						100.0		
16.4～16.0	試料数				2	3			4	1							10	16.4	1.85
	出現率				20.0	30.0			40.0	10.0							100.0		
計	試料数	1	1	6	16	70	171	1,167	3,164	6,127	8,210	5,242	2,128	445	9	3	26,760	19.8	1.38
	出現率	0.0	0.0	0.0	0.1	0.3	0.6	4.4	11.8	22.9	30.7	19.6	7.9	1.7	0.0	0.0	100.0		